

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MESC TECHNICAL NEWS

No. M7700-100-9905

7920グループ DMAC使用時の注意事項

1. 対象品種

7920グループ全品種

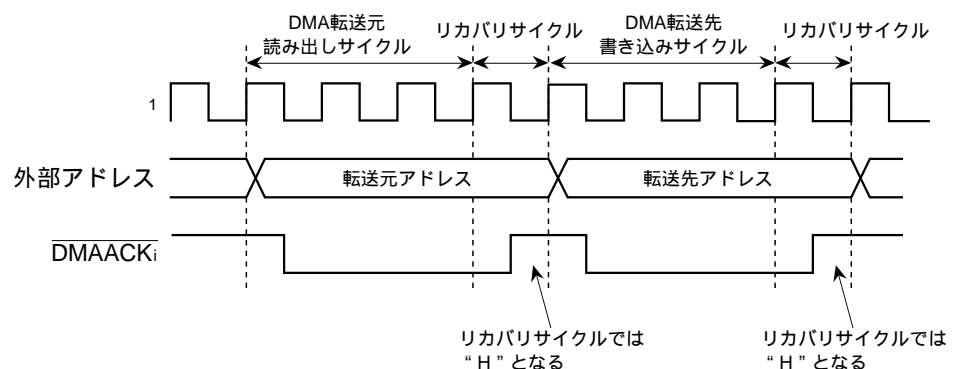
2. 現象

DMA転送のDMAACK_i有効ビットを有効に設定した場合、以下の条件でDMAACK_i端子の“L”レベル出力が中断する場合があります。

条件1： 転送元もしくは転送先の領域に対してリカバリサイクル挿入を指定した場合

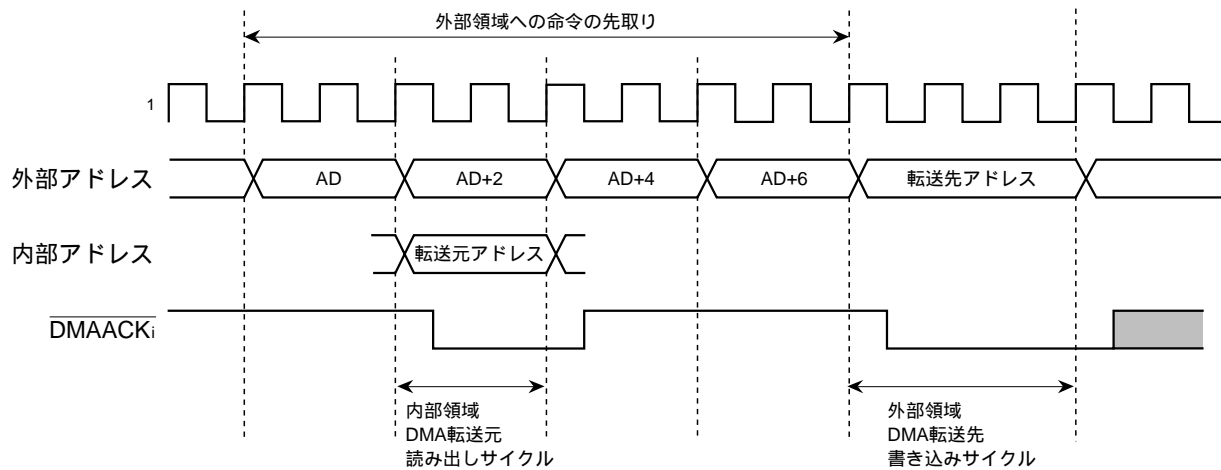
リカバリサイクル中の ϕ_1 の立ち下がりに同期してDMAACK_i端子は“H”レベル出力になります。続けて転送する場合（バースト転送又はサイクルスチールモードの2バスサイクル転送）は、次のバスサイクルの最初の ϕ_1 の立ち下がりでDMAACK_i端子が再び“L”レベルになります。

[例]



条件2： 外部領域への命令の先取り中の2バスサイクル転送で、転送元が内部領域
かつ転送先が外部領域の場合

[例]



条件3： 2バスサイクル転送中にDRAMリフレッシュが入った場合

[例]

